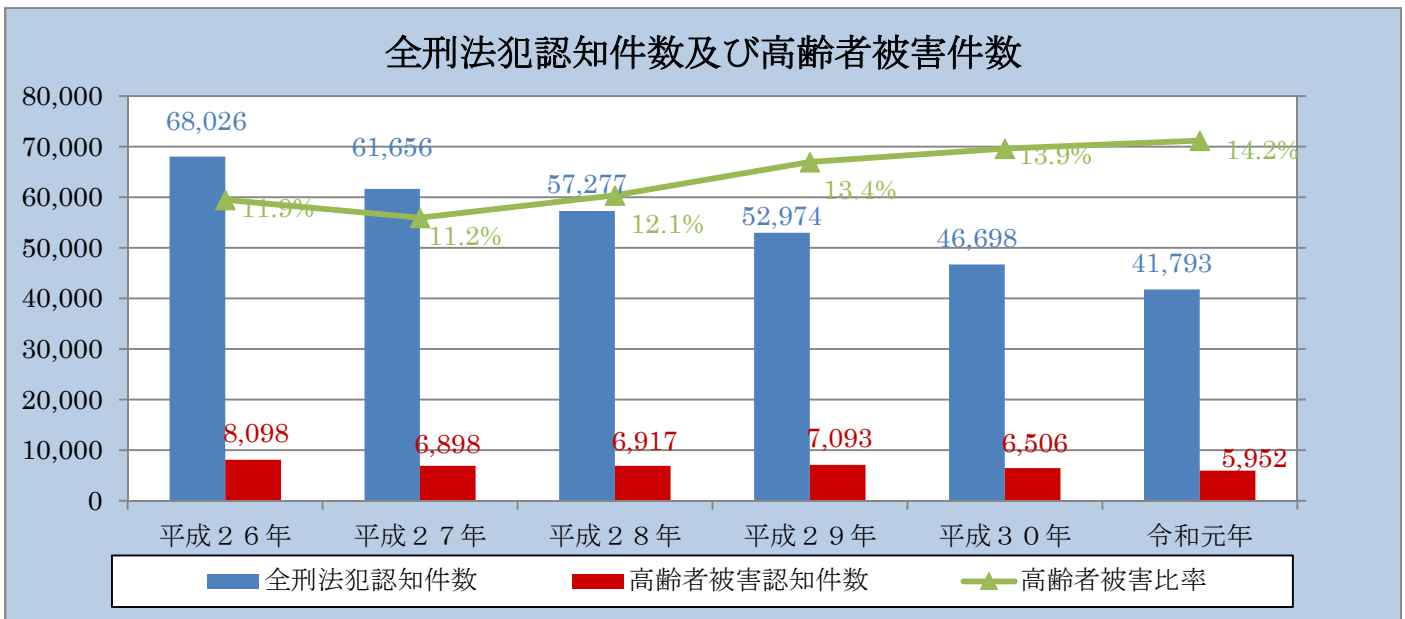
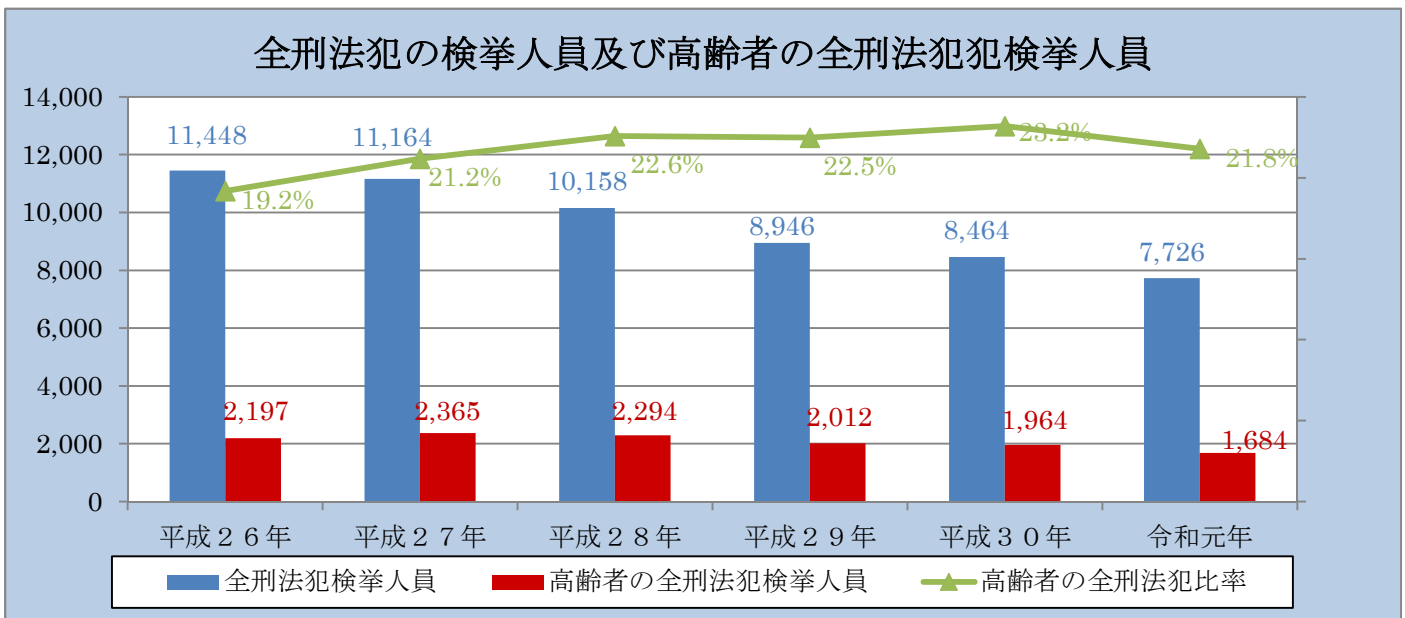


## 高齢者の犯罪被害等の推移



- 全刑法犯認知件数は平成14年をピークに17年連続して減少しており、令和元年中の高齢者被害認知件数は前年と比べ、約8.5%減少している。  
また、令和元年中における高齢者被害の占める割合は、0.3ポイント増加している。
- 令和元年中における高齢者の被害件数及び全体に占める割合  
被害件数 5,952件（前年比-554件、約8.5%減少）  
高齢者被害比率 約14.2%（前年比約0.3ポイント増加）



- 全刑法犯検挙人員が、平成18年をピークに減少傾向にある中、検挙された高齢者数はほぼ横ばいであることから、全刑法犯検挙人員に占める高齢者の比率は増加傾向である。
- 令和元年中に検挙された高齢者数及び全体に占める割合  
検挙人員 1,684人（前年比-280人、約14.3%減少）  
高齢者比率 約21.8%（前年比約1.4ポイント減少）
- 検挙人員のうち、高齢者の割合が多い手口は万引き（37.3%）、車上ねらい（26.2%）、置引き（21.0%）となる。